

栄東まちづくり協議会・委員会議事録

日 時 2019 年 5 月 9 日（木）18:30～20:00

場 所 栄東まちづくり協議会会議室

出席者 辻本会長、田端副会長、辻副会長、林、野田、舘(代理：小松)、宮島、鳥原、原田

監事 河田

傍聴人 3 名

● 定足数の確認

9 人中 9 人の出席で規約第 15 条第 2 項の規定（在籍会員の過半数の出席）により有効に成立

● 議題及び報告事項（別添資料参照）

議題：

1 栄東まちづくり協議会の会議(意思決定)に関する制度の検討

- (1) 協議会の行政側職員の役割、立場について
- (2) 総会と委員会の二重構造について
- (3) 栄東女子大小路ビル協会と栄東発展会の委員会、総会の議席配分について

● 議事要旨

議題：

1. 栄東まちづくり協議会の会議(意思決定)に関する制度の検討

- (1) 協議会の行政側職員の役割、立場について
 - ・ 補助金を出す側の行政が事業を決定する協議会の議決権を持つことに一部問題があることは承知している。
 - ・ 港まちづくり協議会の場合は、有識者を入れた検討部会の意見を踏まえて現状の形になっていて、その経緯なども考慮する必要がある。
 - ・ 行政が議決権を持たないオブザーバーとして協議会の会議に参加することになっても、これまでどおり事業運営について意見を言っていただく必要がある。決定は地域が主体的に行うほうが行政にとってもいいという考え方も従来からある。栄東のいままでの運営の経緯を踏まえて、次のステップに向けて検討する時期に来ていると思う。
 - ・ 行政の参加の仕方いかんにかかわらず、補助金の使い方についてはこれまで通り制約がある。地域が主体的になりながらも、補助金の返還などがないようにする必要がある。
 - ・ 今までやってきて問題がないのなら、このままでもいいと思う。
 - ・ 道路や公園の占有を許可(行政処分)する側の者が、それに関連する事業の意思決定に参画することには、以前から問題の指摘があった。
 - ・ 港の場合、道路に関する事業などでは、今まで名古屋市が(直)執行する形しかなかった。

→ 行政側として持ち帰り、次回の委員会で進捗を報告することとなった。

(2) 総会と委員会の二重構造について

- ・ 協議会が立ち上がった当時、委員会を作った積極的な理由が何だったのか？
- ・ 港まちづくり協議会では毎月、会員全員が参加する会議を開催されている。
- ・ 委員会を進めていて、これは総会事項だということになって、総会メンバー

の書面決議をとったこともあった。

- ・ 前回の総会でも、よく傍聴されている委員会メンバー以外の会員から、意見を言う場がないと言われた。
- ・ 現在の委員会という名称は別として、毎月の委員会に町内会長全員（12名）が参加することはいいと考える。
- ・ 会員の負担が減るように、①会議数を減らす、②栄東まちづくりの会（栄東発展会）の審議事項を協議会と共有する、③会長、副会長と事前に議題を共有し、できるだけ早く町内会長に連絡するなど、より円滑に会議を行えるよう改善が必要だ。

→ 協議会の構成団体である栄東発展会で検討することとなった。

(3) 栄東女子大小路ビル協会と栄東発展会の委員会、総会の議席配分について

- ・ ビル協会として会員の意向を伝えるために、議席が増えると助かるという思いがある。ビル協会の人数を増やしてほしい。地域でみんなで考えていただいて、繁華街がよくなるようにしたい。
- ・ 昼夜間人口の指標を考慮することも考えられる。
- ・ 都心部で事業者も多く活動している。何を目指して進めていくかで、どのような人の意見を反映させていくかで考えればいいと思う。
- ・ 栄東まちづくりの会も町内会とビル協会で作られていて、ビル協会が6人入っている。できるだけ皆さんが会議に出て、直接意見が言える方がいい。
- ・ ビル協会も町内会に所属している。最初からこの体制であるので、変更する必要はないと思う。
- ・ 女子大小路もさみしくなっている。ビル協会の人意見が言えるようになって、住民と一緒に考えてまちづくりを進めていくためには、ビル協会も何人か入っている方がいいと思う。
- ・ ビル協会以外にも事業者として駐車場経営の方もみえる。しかし、当初から町内主体でやってきたので、これでいいと思う。
- ・ 栄東まちづくりの会にビル協会が6名になった。その様子を見的过程中で、協議会も足りないんじゃないのという議論になれば増やせばいい。
- ・ 栄東、歓楽街（4丁目）でにぎわいをつくると街が活気づく。事業者も地域の人間だから住民とより協力するために、議席を増やすのはいい方向だ。
- ・ ボートピアは地域として誘致した。その経緯を踏まえて議論すべきだ。
- ・ 経緯は大切だが、現状を把握し、今後の方向性を検討すべきだ。

→ 継続審議とし、各構成団体でも議論し、検討することとなった。